



平成24年度政府予算案(肝炎対策関連)



厚生労働省 健康局 疾病対策課 肝炎対策推進室

肝炎総合対策の5本柱

平成24年度政府予算案

239億円（237億円）

うち重点化枠分で
28億円

1. 肝炎治療促進のための環境整備 137億円（152億円）

2. 肝炎ウイルス検査の促進 41億円（55億円）

3. 肝疾患診療体制の整備、医師等に対する研修、
相談体制整備などの患者支援等 10億円（7億円）

○地域の相談窓口の利便性の向上（新規）

4. 国民に対する正しい知識の普及啓発 2億円（2億円）

○職場や地域などあらゆる方面への正しい知識の普及（一部新規）

5. 研究の推進 49億円（21億円）

○B型肝炎の創薬実用化等研究事業（日本再生重点化措置）

1.肝炎治療促進のための環境整備

137億円（152億円）

肝炎治療特別促進事業（医療費助成） 136億円（151億円）

B型・C型ウイルス性肝炎に対するインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療への医療費助成を行う。

実施主体	都道府県
対象者	B型・C型ウイルス性肝炎患者
対象医療	<ul style="list-style-type: none">・ B型・C型肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療 ＜平成23年度内に追加された対象医療＞<ul style="list-style-type: none">① B型慢性肝炎に対するペグインターフェロン単独療法② C型代償性肝硬変に対するペグインターフェロン及びリバビリン併用療法③ C型慢性肝炎に対するテラプレビルを含む3剤併用療法・ B型肝炎の核酸アナログ製剤治療
自己負担 限度月額	原則1万円 (ただし、上位所得階層については2万円)
財源負担	国:地方=1:1
平成24年度予算案	136億円
総事業費	272億円

2.肝炎ウイルス検査の促進

41億円（ 55億円）

● 保健所における肝炎ウイルス検査の受診勧奨と検査体制の整備 （特定感染症検査等事業）

- ・ 検査未受診者の解消を図るため、医療機関委託など利便性に配慮した検査体制を整備。

※ 平成24年度も引き続き緊急肝炎ウイルス検査事業を実施

- ・ 特定感染症検査等事業における出張型検診の実施

都道府県等が、保健所や委託医療機関で実施している肝炎ウイルス検査について、出張型の検査も実施することで、検査のより一層の促進を図る。

● 市町村における肝炎ウイルス検診等の実施（健康増進事業）

- ・ 肝炎ウイルス検診への個別勧奨の実施

40歳以上5歳刻みの者を対象として、無料で検査を受けることが可能な個別勧奨メニューを追加し、検査未受検者への受検促進の一層の強化を図る。

3.肝疾患診療体制の整備、医師等に対する研修、相談体制整備などの患者支援 等 10億円（ 7億円）

● 診療体制の整備

- ・ 都道府県においては、中核医療施設として「肝疾患診療連携拠点病院」を整備し、患者、キャリア等からの相談等に対応する体制（相談センター）を整備。
- ・ 2次医療圏に1箇所程度整備される専門医療機関に相談員を配置するなどにより、地域の相談窓口の利便性の向上を図る。（新規）



● 肝硬変・肝がん患者に対する心身両面のケア、医師に対する研修の実施

- ・ 肝疾患診療連携拠点病院においては、肝疾患相談センターで肝硬変・肝がん患者を含めた患者、家族等に対する心身両面のケアを行うとともに、医師等の医療従事者に対する研修等を実施。
- ・ 肝炎情報センターにおいては、肝疾患に関する各種の情報提供、拠点病院の医療従事者に対する研修、その他の支援を実施。



4.国民に対する正しい知識の普及啓発

2億円（2億円）

◎ 教育、職場、地域あらゆる方面への正しい知識の普及啓発

肝炎に関する正しい知識を国民各層に知っていただき、肝炎ウイルスの感染予防に資するとともに、患者・感染者の方々がいわれのない差別を受けることのないよう、普及啓発に努めている。

肝炎患者等支援対策事業(普及啓発部分)

0.9億円(0.9億円)

○ 自治体の普及啓発活動に対する補助事業

- ・ シンポジウム開催、ポスター作成、新聞・中吊り広告 等



多角的普及啓発事業(新規)

1億円

- ・ 平成24年7月28日の第1回日本肝炎デーイベントを始めとして、通年において、肝炎に関する正しい知識の普及や差別・偏見の解消などを図る。

5.研究の推進

49億円（21億円）

- ・ 肝炎等克服緊急対策研究事業 13億円（16億円）

「肝炎研究10カ年戦略」を踏まえ、肝疾患の新たな治療法等の研究開発を推進する。



- ・ 健康長寿社会実現のための
ライフ・イノベーションプロジェクト（肝炎分） 4.5億円（5億円）

肝炎感染予防ガイドラインの策定等、肝炎総合対策を推進するための基盤づくりに資する行政的研究を実施する。



- ・ B型肝炎創薬実用化等研究事業（新規）28億円

B型肝炎の画期的な新規治療薬の開発等を目指し、基盤技術の開発を含む創薬研究や、治療薬としての実用化に向けた臨床研究等を総合的に推進。